

# 県議会だより いしかわ



石川県議会  
マスコットキャラクター  
**石若丸**  
いし わか まる

## 県内全線開業まであと2年 北陸新幹線の 車窓から望む 白山の景観を守る

木場潟越しに望む霊峰白山の姿は、多くの県民に愛されている絶好の景観です。

県では、令和5年度末までに県内全線開業を果たす北陸新幹線の乗客にも白山の眺望を楽しんでもらうため、小松市木場潟付近から加賀市分校町までのエリアで、建築物等の高さや色彩を規制します。

さらに、JR西日本の協力により、新幹線の車窓から木場潟越しの白山や加賀平野の田園風景が見られるよう、防音壁の一部に透明板を設置することが決まっています。

県議会では今後も、県の財産である眺望景観の保全に目を配り、北陸新幹線沿線の魅力をさらに高める施策を推進します。



新幹線の車窓の高さから撮影した木場潟と白山

今号の  
トピックス

- 県議会ダイジェスト Vol.4
- 石若丸が教える！1からわかる「県議会教室」

# 県議会ダイジェスト Vol.04

定例会や毎月開催される常任委員会などで意見を述べたり質疑を行ったりすることで、県民の皆様の思いを県政に届け、さまざまな県の取り組みに反映させることが、議員の重要な役割の一つです。

これまでの論戦について、第37号から今号までの4回シリーズで特集しており、今号は10人の議員について、代表質問、一般質問、予算委員会での質疑の一部を掲載します。

※各議員のQRコードから質疑の映像をご覧いただけます。

石川県議会ホームページで、本会議・予算委員会の生中継や過去の映像をご覧いただけます。



## 代表質問

吉田 修 よしだ おさむ

4期 未来石川



### 金沢城公園の整備について

**Q** 金沢城の整備については、どのような姿勢で取り組んできたのか。また、二の丸御殿復元に対する思いを聞く。



**A** 金沢城は、本県の豊かな文化土壌を象徴する場所であり、県民の誇り、心の拠りどころとなりうるものとの思いで、史実を尊重した本物志向の姿勢で整備を進め、国内外に誇りうる貴重な、県民共有の新たな文化資産を築くことができたと考えている。  
二の丸御殿は、金沢城復元の総仕上げといえる究極の建造物であり、御殿の復元は、金沢城の価値や魅力を格段に高めるだけでなく、匠の技、全国に誇る伝統工芸の技の次世代への継承など、多面的な意義を有しており、金沢城は、文化立県のシンボルとして、一層の輝きを放つことになると確信している。

岡野定 隆志

おかのじょう たかし

1期 未来石川



### 教員の確保について



**Q** 小学校高学年の教科担任制に係る国への要望と、教員の補充ができない学校が多いと聞かす対応を聞く。

**A** 教科担任制の拡大にあたり、必要となる加配定数が、従来の加配定数の振替ではなく、新たな加配定数として確保されることが不可欠であり、全国知事会、全国都道府県教育長協議会などを通じ、必要な加配定数の確保を要望している。

教員の補充については、代替講師を配置しているが、教員採用試験受験者の減少などにより、講師登録者が以前と比べて減少しており、すぐに講師を補充できない状況である。このため県教委では市町教委と連携し、既に退職した教員に対し、代替講師として勤務いただけないか、一人一人に強くお願いしている。

太田 臣宣

おおた しげのり

1期 自由民主党



### 主要地方道 松任宇ノ気線の消雪整備



**Q** 内灘町宮坂から西荒屋までの消雪装置の整備状況と、今後の見通しは。

**A** 令和元年度から、内灘町宮坂から西荒屋地内の約2kmの整備に着手しており、市街地寄りの宮坂側から工事を進めている。

昨年度までに井戸一本の掘削が完了し、今年度は新たに散水管の整備に着手した。昨年10月までに約700mを整備し、今冬から消雪装置の運用を開始しており、残る約1.3kmの区間についても、引き続き整備を進めていく。

今後も地域住民の安心・安全の確保に向けて、松任宇ノ気線の機能充実と強化に取り組んでいく。

田中 敬人

たなか たかひと

2期 自由民主党



### 水素ステーションの設置



**Q** 県内に整備予定の水素ステーションでは、どの程度の規模で水素の製造と供給が行われるのか。

**A** 能登、金沢に設置する水素ステーションは、太陽光などの再生可能エネルギーを活用し、ステーション内で水を電気分解して製造した水素を供給する方式を全国に先駆けて採用することにより、徹底的にゼロカーボンにこだわっている。

導入予定設備は1基あたり1日20kgの水素を製造できる能力があり、燃料電池自動車の燃費や走行可能距離、隣県の水素ステーションの利用実績を元に試算すると、県内に100台程度の燃料電池自動車が普及しても供給対応が可能と考えている。

沖津 千万人

おきつ ちまと

2期 自由民主党



### 魅力ある食材の掘り起こしを



**Q** まだあまり知られていない、魅力ある食材の掘り起こしへの考えを聞く。

**A** 県内には、ルビーロマンなどのブランド食材以外にも特色ある食材が数多くある。それらを掘り起こし、磨き上げていくことも、本県農林水産物のブランド化を進めていく上で重要である。

こうした中、かほく市の特色ある食材を紹介する「かほく食マルシェ2022」に参加し、紋平柿や、甘みのある脂身の特徴とする豚肉の豚輝(トンキー)、国産では珍しいきくらげなどを使った料理をいただき、新たなブランド食材に育つ可能性を実感した。

普及指導員などの生産指導を通じて、地域の方々が自ら取り組む特色ある食材の掘り起こしや磨き上げを後押ししていきたい。

安居 知世

やすい ともよ

3期 自由民主党



### 女性の声の反映について



**Q** 女性からの提言や要望を踏まえ取り組んだ施策で、印象深いものと今後検討しているものを聞く。

**A** 女性県政会議については、これまで女性ならではの視点でさまざまな意見・提言をもらい、施策に反映してきたところであり、今後も継続することに大きな意味があると思っており、後任の知事にもしっかり引継ぎしたい。

女性の声の施策への反映については多数あるが、いくつか挙げれば、女性防災士の育成や県立中央病院の女性専用外来の整備、安居議員から提案のあった性暴力被害者支援のためのワンストップ支援センターの開設などがある。

今後は、県の災害備蓄品に生理用品を加えて欲しいとの意見があることから、新たに備蓄品とすることとしている。

佐藤 正幸

さとう まさゆき

3期 日本共産党



### 新型コロナウイルス感染症の対応



**Q** 検査能力をどれだけ拡大したのか。また、石川中央医療圏への保健所の追加設置など体制拡充を聞く。

**A** 検査能力については、県医師会のご協力のもと、身近な医療機関における検査体制の整備等に取り組み、1日当たり約8,900件の検査が可能な体制を確保している。

現在、新規感染者の急増に伴い、保健所の業務が著しく増加している中、石川中央保健所の管内では感染者が特に多く発生している。既に県庁や看護大学から保健師を含む職員10名を増強してきたが、さらに10名の増強を行っている。

今後とも、保健所職員の確保や業務負担の軽減に努めながら、感染症対策にしっかりと取り組んでいく。

山口 彦衛

やまぐち ひこえ

3期 自由民主党



### 奥能登の農業振興



**Q** 来年度以降も、ほ場整備事業にしっかり取り組むべきと考えるが、見通しは。

**A** ほ場整備事業は、農地の大区画化により大型機械の導入を可能にするなど、営農の効率化や生産コストの低減が期待できる。農地を担い手に集める上でも大変有効で、今年度は奥能登地域の13地区をはじめ県内43地区で実施している。

来年度以降も、能登地区を中心に新規地区の要望があり、事業を計画的に進めていくために必要な予算を十分確保できるよう、国に強く働きかけていく。併せて、市町と連携し、ほ場整備に関心がある地域に対して説明会を開催するなど、事業実施に向けた地域の取り組みを積極的に支援していく。

中村 勲

なかむら いさお

6期 自由民主党



### 建設・土木業界での働き方改革



**Q** 公共工事の書類削減や工事現場の労働環境改善によって、業界の働き方改革を進めるべき。

**A** 業務の効率化に向け、これまでも電子入札の導入、完成書類の電子データ化などに努めてきた。また、働き方改革の促進に向け、発注工事において週休2日の普及を図るため、「いしかわ土日おやすみモデル工事」に取り組んでおり、今年度12月末時点の実績は、昨年度の約1.7倍となっている。

さらに、建設機械や測量機器のICT技術を活用した、効率のかつ安全な作業や施工管理を行うモデル工事にも取り組んでおり、引き続き業界団体との意見交換など現場の声を聞きながら、働き方改革の促進に向けて、積極的に取り組んでいく。

紐野 義昭

ひもの よしあき

8期 自由民主党



### 障害者スポーツの支援強化を



**Q** 障害者スポーツの発展に向け、競技力の向上や普及への取り組みを強化してはどうか。

**A** これまで、障害者スポーツ大会の開催や、障害者アスリートに対し全国大会等に出場する際の経費を支援するなど、障害者スポーツの普及と強化の両面から取り組んできた。

加えて、県スポーツ施設の利用料免除など、障害のある方がスポーツに取り組みやすい環境づくりにも力を注いできた。

昨年の東京パラリンピックでは、県ゆかりの選手が銀メダルを獲得し、障害者スポーツへの関心や機運が高まっており、関係団体と連携し、障害者スポーツの裾野の拡大、競技力向上に向け、取り組みの充実・強化に努めていきたい。

# 観光・文化スポーツ・海外対策特別委員会と 災害・県土強靱化対策特別委員会

石若丸が教える!  
1からわかる  
「県議会教室」

第8回



県議会の役割や仕事を紹介するシリーズ企画「県議会教室」。第8回のテーマは、「観光・文化スポーツ・海外対策特別委員会と災害・県土強靱化対策特別委員会」です。この2つの委員会の取り組み内容について説明します。

## 専門的な議論を実施

### Question

県議会には、特定の事項について専門的に調査する特別委員会が設けられています。「観光・文化スポーツ・海外対策特別委員会」と「災害・県土強靱化対策特別委員会」はどんなことを議論しているのですか？

### Answer

観光・文化スポーツ・海外対策特別委員会は、観光及び交流の促進、交流・交通基盤の整備、文化の振興及びスポーツ活動の推進、海外戦略等について議論を展開しています。

今年度は、コロナ禍における観光事業者の支援や県内企業の海外販路開拓支援、いしかわ百万石文化祭2023開催に向けた取り組み、文化施設における市町との連携、千里浜海岸の侵食対策などについて議論を深めています。

災害・県土強靱化対策特別委員会は、災害対策、県民の安全・安心、県土の強靱化等について議論しています。

今年度は、避難所における新型コロナウイルス感染症対策や女性のニーズ等に配慮した新たな備蓄、交通状況の変化に応じた通学路の交通安全対策、水道基幹管路耐震化の取り組み、緊急輸送道路の整備促進、小規模河川の洪水浸水想定区域図作成などについて議論を進めています。

#### 観光・文化スポーツ・海外対策特別委員会

委員長 増江啓  
副委員長 八田知子  
委員 車幸弘、不破大仁、  
善田善彦、焼田宏明、  
宮下正博、中村勲、  
藤井義弘、和田内幸三、  
福村章、吉田修、  
盛本芳久、石坂修一

#### 災害・県土強靱化対策特別委員会

委員長 徳野光春  
副委員長 田中哲也  
委員 安実隆直、長田哲也、  
橋本崇史、田中敬人、  
平蔵豊志、安居知世、  
作野広昭、向出勉、  
打出喜代文、岡野定隆志、  
谷内律夫、佐藤正幸

県議会の活動を伝える広報紙

県議会  
だより  
第40号

編集・発行 / 石川県議会 (年4回発行)  
令和4年3月16日発行

●お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地  
TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会  
ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索



県議会に対する  
ご意見・ご提言を  
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからもお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。



メールアドレス

[gikai@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:gikai@pref.ishikawa.lg.jp)